

うさぎとかめを引き分けにしよう

単 元	一次関数	対象学年	2 年
ね ら い	生徒が興味をもって取り組み、多様な考え方ができる課題「うさぎとかめ」の問題を通して、具体的な事象を一次関数として捉えることができる。		

1 準備するもの

教師：ワークシート①②， 黒板提示用ワークシート

生徒：定規

2 学習のしかた

- (1) 「うさぎとかめ」の話の様子を表したグラフ見て，分かることを発表する。
- (2) 「うさぎとかめ」が引き分けになるにはどうしたらよいか考える。
- (3) 「うさぎとかめ」のせりふを考え，発表する。
- (4) せりふをもとに，引き分けにする方法をグラフを使って考える。
- (5) グループで自分の考えを発表し，それが正しいか確認する。
- (6) 全体の場で自分の考えを発表する。

3 学習上の留意点

- ・引き分けとは同時にゴール地点に着くということを確認する。
- ・うさぎとかめの速さは変えない，コースを戻ってはいけないという条件を付ける。
- ・うさぎとかめの気持ちになって，レース後のうさぎのせりふを考えるようにする。
- ・グラフを書き込むことができ，発表の際に見やすいサイズのワークシート②を用意する。
- ・グラフを使って実際に計算して求め，引き分けにするには具体的にどうしたらよいかを説明できるようにするとよい。そのために，複雑な数値は避ける。
- ・せりふや引き分けにする方法を「考える時間」，「自分の考えを伝える時間」，「グループで検証する時間」を十分に確保する。

4 学習の効果

- ・単元の最後に発展的な学習として取り扱う。
- ・グループで自分の考えを伝える場を設定すると，分からないことや困っていることを互いに聞くことができる。また，自分の考えを確認したのち，全体の場で発表することで，全体の場でも自信をもって発表することができる。
- ・「物語が授業になっておもしろかった。」「今までに習ったことがこんなふうに使えることが分かった。」と感想を書く生徒が多くおり，興味をもって，楽しみながら学習することができた。